

応募書類の記入要領
【一般募集区分用】

内容

1. 応募書類作成にあたっての留意事項	1
1.1 応募書類の作成	1
1.2 応募書類の構成	2
2. 応募書類の記入要領	3
2.1 様式般0 仮申込み書	3
2.2 様式般1 正式申請書 概要シート	6
2.3 様式般2 正式申請書 提案書	7
2.3.1 表紙	7
2.3.2 研究体制	9
2.3.3 提案内容	11
2.3.4 生命倫理および安全面への配慮	16
2.3.5 経歴および業績等	18
2.4 様式般3 正式申請書 研究分担者承諾書	20
2.5 様式般4 正式申請書 個人情報取扱に関する同意書	21

1. 応募書類作成にあたっての留意事項

1.1 応募書類の作成

応募書類は、2 項に従い、指定の様式を用いて作成してください。指定様式以外の応募書類は受理できません。作成に際して必須な各様式（blankフォーム）は下記の URL からダウンロードしてください。

http://iss.jaxa.jp/kiboexp/participation/application/2015_kibo-utilization-theme.html

- (1) 用紙の大きさは、全て日本工業規格 A4 版としてください。
- (2) 本要領に従い、ワープロまたはコンピュータ等、12 ポイント程度の文字で作成してください。
- (3) 応募書類は日本語で作成してください。
- (4) 「様式般 3 研究分担者承諾書」と「様式般 4 個人情報の取扱いに関する同意書」は、片面で印刷してください。それ以外は両面で印刷してください。

1.2 応募書類の構成

応募書類は、表1の構成です。各様式を確認の上、作成してください。

表1 応募書類の構成

	様式		提出時期	字数・枚数制限	提出方法	
仮申込み書	様式一般0		仮申込み時	・A4版2ページ以内 ・研究概要は600字以内	電子メール	
正式申請書	様式一般1	概要シート	正式申請時	・A4版2ページ以内 ・研究概要は600字以内	以下①及び②の両方の方法で提出 ①正本1部、写し15部を郵便等で提出（A4用紙両面印刷） ②電子ファイルを電子メールで提出	
	様式一般2	提案書	正式申請時	ア)表紙	—	ア)～カ)までで1つのファイルとして、以下①及び②の両方の方法で提出 ①正本1部、写し15部を郵便等で提出（A4用紙両面印刷） ②電子ファイルを電子メールで提出
				イ)研究体制	—	
				ウ)提案内容	A4用紙10ページ以内	
				エ)生命倫理・安全面	—	
カ)経歴・業績	A4用紙2ページ以内/1人					
様式一般3	研究分担者承諾書	正式申請時	分担者1名につき1枚	以下①及び②の両方の方法で提出 ①正本1部を郵便等で提出 ②電子ファイルを電子メールで提出		
様式一般4	個人情報の取扱いに関する同意書	正式申請時	研究代表者及び分担者1名につき1枚	以下①及び②の両方の方法で提出 ①正本1部を郵便等で提出 ②電子ファイルを電子メールで提出		

2. 応募書類の記入要領

2.1 様式般0 仮申込み書

※ 事務局記入欄 受付番号：

平成27年度「きぼう」利用フィジビリティスタディテーマ募集 (一般募集区分) 仮申し込み書

- テーマ名 _____
- 対象分野： 1生命科学分野 2宇宙医学分野 3物質・物理科学分野
(非ヒト対象) (ヒト対象)
- キーワード：
- 応募者（研究代表者）
氏名（ふりがな）：
所属機関および部署：
役職：
生年（西暦）：
所属先住所：
電話：
e-mail：
FAX：
- 研究者数(研究代表者を含む人数)：合計 名
(上記研究者数のうち、他機関の研究者数 名)
- 研究分担者の所属機関・部署 役職 氏名

● 利用希望装置

- 1 細胞培養装置 (CBEF) / クリーンベンチ (CB)
- 2 生物実験ユニット (BEU)
 細胞培養ユニット (CEU)、 植物実験ユニット (PEU)、 計測ユニット (MEU)
- 3 多目的実験ラック (MSPR)
- 4 水棲生物実験装置 (AQH)
- 5 小動物飼育装置
- 6 受動・積算型宇宙放射線被ばく線量計測 (PADLES)
- 7 パーティクルカウンタ
- 8 流体物理実験装置 (FPEF)
- 9 溶液結晶化観察装置 (SCOF)
- 10 蛋白質結晶生成装置 (PCRF)
- 11 温度勾配炉 (GHF)
- 12 燃焼実験チャンバ (CCE)
- 13 簡易型生体機能モニター装置 (ホルター心電計)
- 14 宇宙医学実験支援システム (Onboard Diagnostic Kit)
- 15 宇宙医学研究のための装置 ()
- 16 顕微鏡観察システム (Microscope Observation System)
- 17 軌道上冷凍・冷蔵庫
- 18 その他 ()

● 提案実験の概要 (600 字以内)

「様式般 0 仮申込み書」の作成要領

「様式般 0 仮申込み書」の内容は A4 版 2 ページ以内に記入してください。

● テーマ名

英数字を含め全て全角で、40 字以内で記入してください。

● 対象分野

希望する分野にチェックしてください。

● キーワード

今回の提案に関連するキーワードを 3 つ程度記入してください。実験テーマ内容を端的に表すものとしてください。

● 応募者 (研究代表者)

各項目について記入してください。

● 研究者数

研究代表者を含む研究者の数を記入してください。また、研究者数のうち、研究代表者の所属機関と異なる機関に所属する人数を記入してください。

●研究分担者の所属機関・部署 役職 氏名

全ての研究分担者の所属機関および部署、役職、氏名を記入してください。

●利用希望装置

希望する宇宙実験装置にチェックしてください。実験内容に応じて複数の装置を選択してください。（なお、No. 14 の「宇宙医学研究のための装置」に関しては、「きぼう船内実験室利用ハンドブック」に記載の米航空宇宙局（NASA）、欧州宇宙機関（ESA）等の所有する装置等を参照ください。これら海外機関の装置は、国際協力枠組みの中で利用調整する装置であり、場合によっては、希望に添えないことがあります。）

●提案実験の概要

提案実験の概要を 600 字以内に要約して記入してください。

提案する宇宙実験によって、何を測定・観察し、どういった事柄を明らかにしたいのか、そのためにどのような実験手法・解析方法を用いるのかなど、実験の目的、背景、新規性・独創性・革新性、期待される成果などを簡潔に記入してください。

また、募集要項の「2. (9)2) 評価・選考の主な観点」にある『「きぼう」利用の成果が世界的に特に優れた科学的成果の創出や我が国の科学技術イノベーションの創出、産業や社会への貢献等にどのようにつながるのか（成果の活用）の見通し・ビジョン』についても簡潔に含めてください。

2.2 様式般 1 正式申請書 概要シート

本書 2.1 項「様式般 0 仮申込み書」を参照ください。

「様式般 1 概要シート」に基づいて審査データの処理を行いますので、「様式般 2 提案書」に記載した内容と異なる記載や記載漏れがないように注意してください。

「様式般 0 仮申込み書」と同じ様式ですが、正式申請書の一部として必ず提出してください。なお、「様式般 0 仮申込み書」の記載内容から変更があってもかまいません。

2.3 様式般 2 正式申請書 提案書

正本は左肩クリップ留、写しは左肩ステイプル留で提出してください。
カラーの写真、図表等がある場合には写しもカラーで作成してください。

2.3.1 表紙

※ 事務局記入欄：受付日	年	月	日
受付番号： _____			
平成 27 年度 「きぼう」利用フィジビリティスタディテーマ募集 (一般募集区分) 提案書			
国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構 有人宇宙技術部門 きぼう利用センター長 殿			
所属機関名 _____			
所属組織長 _____			
フリガナ 役職名・氏名 _____ 印			
研究代表者所属部署 _____			
フリガナ 役職名・氏名 _____ 印			
平成 27 年度「きぼう」利用フィジビリティスタディテーマ募集（一般募集区分）に 下記のテーマを提案します。			
● テーマ名 _____			
● 対象分野： 1□生命科学分野 2□宇宙医学分野 3□物質・物理科学分野 (非ヒト対象) (ヒト対象)			
● キーワード：			
募集案内を確認の上、応募します。 <input type="checkbox"/> (チェック)			

「様式般 2 提案書（表紙）」の作成要領

・所属機関名および所属組織長

所属機関名、所属組織長の役職名、氏名およびフリガナを記入してください。

応募に際しては、所属組織長の承認と押印が必要となります。所属組織長とは、例えば、大学の場合には学部長、国公立試験研究機関の場合には部長相当等の役職者です。

・研究代表者

研究代表者の所属部署、役職名、氏名およびフリガナを記入してください。氏名欄に、記名・捺印または署名してください。

●テーマ名

英数字を含め全て全角で、40 字以内で記入してください。

●対象分野

希望する分野にチェックしてください。

●キーワード

今回の提案に関連するキーワードを 3 つ程度記入してください。テーマ内容を端的に表すものとしてください。

●応募内容を確認の上、応募します。

応募にあたっては、募集案内を十分確認いただいた上で応募をしていただく必要があります。募集案内を確認頂いたらチェック欄にチェックをしてください。チェック欄にチェックのない正式申請書は受理できませんのでご注意ください。

2.3.2 研究体制

研究体制				
1. 研究分担				
(1) 研究代表者が所属する研究機関からの参加者				
所属機関・部署				
住所	〒			
電話		FAX		
研究代表者	フリガナ 氏名	役職	e-mail	
	研究項目：		工フォート	%
	分担内容：			
研究分担者 1	フリガナ 氏名	役職	e-mail	
	研究項目：		工フォート	%
	分担内容：			
(2) 他の研究機関からの参加者				
所属機関・部署				
住所	〒			
電話		FAX		
研究分担者 2	フリガナ 氏名	役職	e-mail	
	研究項目：		工フォート	%
	分担内容：			
研究分担者 3	フリガナ 氏名	役職	e-mail	
	研究項目：		工フォート	%
	分担内容：			
研究分担者 4	フリガナ 氏名	役職	e-mail	
	研究項目：		工フォート	%
	分担内容：			
研究分担者 5	フリガナ 氏名	役職	e-mail	
	研究項目：		工フォート	%
	分担内容：			

「様式般 2 提案書（研究体制）」の作成要領

●研究分担

以下の記入例を参考として、研究代表者および研究に実質的に参加する全ての研究分担者を記入してください。なお、指導助言を行うなど実質的な責任を負わない研究者、大学院生、学部学生および研究生、資料整理を行う者等は研究分担者になることができませんので記載しないでください。

- ・ 各研究分担者は、「様式般 3 研究分担者承諾書」を提出してください。
- ・ エフォートは、本提案が宇宙実験計画の設定まで進んだ場合を想定した時間の配分率を記入してください。時間の配分率は、「研究者の年間の全仕事時間を 100%とした場合、当該研究の実施に必要とする時間の配分率 (%)」に基づきます。この際、「全仕事時間」は研究活動の時間だけではなく、教育活動等を含めた実質的な全仕事時間であることに留意してください。
- ・ 研究分担者の欄は適宜拡張してください。

(1) 研究代表者が所属する研究機関からの参加者

所属機関・部署	日本宇宙大学 総合科理工学部		
住所	〒***-****東京都**区**町**番**号		
電話	**-****-****	FAX	**-****-****
研究代表者	チキユウ ハナコ 地球花子	教授	***@****. **. jp
	研究項目：〇〇に関する研究		エフォート %
	分担内容：分担する研究の概要を 2 から 3 行で説明してください。		
研究分担者 1	ウチユウ タロウ 宇宙太郎	講師	***@****. **. jp
	研究項目：〇〇に関する研究		エフォート %
	分担内容：分担する研究の概要を 2 から 3 行で説明してください。		

(2) 他の研究機関からの参加者

所属機関・部署	宇宙ステーション研究所 生理学研究室		
住所	〒***-****東京都**区**町**番**号		
電話	**-****-****	FAX	**-****-****
研究分担者 2	〇〇〇〇 〇〇〇〇	統括研究員	***@****. **. jp
	研究項目：〇〇に関する研究		エフォート %
	分担内容：分担する研究の概要を 2 から 3 行で説明してください。		
研究分担者 3	〇〇〇〇 〇〇〇〇	主任研究員	***@****. **. jp
	研究項目：〇〇に関する研究		エフォート %
	分担内容：分担する研究の概要を 2 から 3 行で説明してください。		

2.3.3 提案内容

提案内容

1. 目的・内容
 - 1.1 宇宙実験の目的
 - 1.2 背景・国内外の関連研究の現状
 - 1.3 新規性・独創性・革新性
2. 既に競争的資金制度等に採択等されている研究の計画変更により、「きぼう」での実験を研究計画に取り込む場合（それ以外の方は3.に進んでください）
 - 2.1 当該競争的資金制度等の情報（競争的資金等の名称、担当府省庁・機関、研究課題名、代表研究者、研究期間、配分額等）
 - 2.2 採択等されている研究の概要（審査対象外）
 - 2.3 その研究の中での宇宙実験の位置付け・必要性
3. FS 選定後に競争的資金制度等に「きぼう」での宇宙実験を含めた研究を新たに申請等する場合（2.項を記入した方は4.項に進んでください）
 - 3.1 想定している競争的資金制度等の情報（競争的資金等の名称、担当府省庁・機関、研究期間、資金規模等）
 - 3.2 申請等を想定している研究の概要
 - 3.3 その研究の中での宇宙実験の位置付け・必要性
4. 期待される成果、実験結果のアウトプット想定（宇宙実験で何を答えとして目指したいか）
5. 波及効果
 - 5.1 科学・技術進歩への貢献/産業・社会への貢献（「きぼう」での宇宙実験の成果が世界的に特に優れた科学的成果の創出や我が国の科学技術イノベーションの創出、産業や社会への貢献等にどのようにつながるのか（成果の活用）の見通し・ビジョン）
 - 5.2 特許等の産業財産権取得の見込み
6. 宇宙実験の方法
 - 6.1 宇宙実験の内容（以下は、提案時点で記入できる範囲で記入下さい。）
 - (1) 宇宙実験に必要な試料数量等
 - (2) 宇宙実験の手順と実験条件

(3) 試料の輸送条件・保管条件

(4) 必要な宇宙実験の期間

(5) 宇宙実験データの処理

6.2 利用希望装置

- 1 細胞培養装置 (CBEF) / クリーンベンチ (CB)
- 2 生物実験ユニット (BEU)
 細胞培養ユニット (CEU)、 植物実験ユニット (PEU)、 計測ユニット (MEU)
- 3 多目的実験ラック (MSPR)
- 4 水棲生物実験装置 (AQH)
- 5 小動物飼育装置
- 6 受動・積算型宇宙放射線被ばく線量計測 (PADLES)
- 7 パーティクルカウンタ
- 8 流体物理実験装置 (FPEF)
- 9 溶液結晶化観察装置 (SCOF)
- 10 蛋白質結晶生成装置 (PCRF)
- 11 温度勾配炉 (GHF)
- 12 燃焼実験チャンバ (CCE)
- 13 簡易型生体機能モニター装置 (ホルター心電計)
- 14 宇宙医学実験支援システム (Onboard Diagnostic Kit)
- 15 宇宙医学研究のための装置 ()
- 16 顕微鏡観察システム (Microscope Observation System)
- 17 軌道上冷凍・冷蔵庫
- 18 その他 ()

「様式般 2 提案書 (提案内容)」の作成要領

A4 用紙 10 ページ以内としてください。

1. 目的・内容

以下の項目について、提案の前提となるようなデータ等を含めて具体的に記入してください。

1.1 宇宙実験の目的

提案実験の重要性が理解されるように、実験によって何を明らかにしようとしているか、具体的な目的、検証項目を提示してください。

1.2 背景・国内外の関連研究の現状

科学的な背景や重要性を述べるだけでなく、実験の提案に至った地上レベルでの研究、過去の宇宙実験の結果などを引用しながら具体的に記入してください。

1.3 新規性・独創性・革新性

どのような点で既存の研究等に対して新規・独創的・革新的であるのかを記入して

ください。

2. 既に競争的資金制度等に採択等されている研究の計画変更により、「きぼう」での実験を研究計画に取り込む場合

競争的資金制度等に既に採択等された研究の研究計画の変更が可能であり、「きぼう」での宇宙実験をその計画の一部として位置付ける場合には、2. 項すべてを記入してください。これに依らず、FS 選定後に競争的資金制度等に「きぼう」での宇宙実験を含めた研究を新たに申請等する場合には、3. 項に進んでください。

2.1 当該競争的資金制度等の情報（競争的資金等の名称、担当府省庁・機関、研究課題名、代表研究者、研究期間、配分額等）

研究計画を変更しようとしている競争的資金制度等の情報（競争的資金等の名称、担当府省庁・機関等、研究課題名、代表研究者、研究期間、配分額等）を記入してください。

2.2 採択等されている研究の概要（審査対象外）

当該競争的資金制度等に採択等されている現在の研究の概要について記入してください。なお、本概要は次の 2.3 項の理解を助ける情報であり、今回の審査の対象外です。

2.3 その研究の中での宇宙実験の位置付け・必要性

前 2.2 項の研究の中に、「きぼう」での宇宙実験をどのように位置づけようとしているのかを記入してください。

また、微小重力や宇宙放射線などの「宇宙環境」が、目的とする知見を得るためになぜ必須であるのか（なぜ他のアプローチではその知見が得られないのか）等の宇宙実験の必要性について記入してください。

3. FS 選定後に競争的資金制度等に「きぼう」での宇宙実験を含めた研究を新たに申請等する場合

FS 選定後に新たに競争的資金制度等に「きぼう」利用を含めた研究の提案を申請等する場合には、3. 項すべてを記入してください。

3.1 想定している競争的資金制度等の情報（競争的資金等の名称、担当府省庁・機関、研究期間、資金規模等）

申請等を想定している競争的資金制度等の情報（競争的資金等の名称、担当府省庁・機関等、研究課題名、代表研究者、研究期間、配分額等）を申請予定時期とともに記入してください（応募時点の想定として記入してください）。

3.2 申請等を想定している研究の概要

申請等を想定している研究の概要について記入してください。

3.3 その研究の中での宇宙実験の位置付け・必要性

前 3.2 項の研究の中で、「きぼう」での宇宙実験がどのように位置づけるのかを記

入してください。

また、微小重力や宇宙放射線などの「宇宙環境」が、目的とする知見を得るためになぜ必須であるのか（なぜ他のアプローチではその知見が得られないのか）等の宇宙実験の必要性についても記入してください。

4. 期待される成果、実験結果のアウトプット想定（宇宙実験で何を答えとして目指したいか）

「きぼう」での宇宙実験によって期待している成果、目指しているアウトプットについて、記入してください。

5. 波及効果

5.1 科学・技術進歩への貢献/産業・社会への貢献（「きぼう」での宇宙実験の成果が世界的に特に優れた科学的成果の創出や我が国の科学技術イノベーションの創出、産業や社会への貢献等にどのようにつながるのか（成果の活用）の見通し・ビジョン）

「きぼう」での宇宙実験の成果が、世界的に特に優れた科学的成果の創出や我が国の科学技術イノベーションの創出、産業や社会への貢献等にどのようにつながるのか（どのように「きぼう」利用成果が活用されていくのか）の見通し・ビジョンを明確に記入してください。

5.2 特許等の産業財産権取得の見込み

今回の提案によって見込んでいる特許等の産業財産権があれば、記入してください。

6. 宇宙実験の方法

6.1 宇宙実験の内容

(1)～(5)については、提案時点で記入できる範囲で記入してください。

(1) 宇宙実験に必要な試料数量等

宇宙実験では宇宙飛行士および宇宙ステーション内の環境などの安全性確保のため、実験試料、薬剤等に関しては毒性、危険性などの安全性評価が必要です。このため、実験に必要な試料、薬剤等について数量を記入してください。

- ・ 試料の種類（生命科学では、生物種名、使用株、重量、age等、物質科学では、物質名や物性等）について記入してください。
- ・ 使用する薬剤、トレーサー等について記入してください。
- ・ 宇宙実験に必要な試料数量（最低限必要な数量と至適数量）を記入してください。地上対照実験が必要であれば、それに要する試料数量についても記入してください。

(2) 宇宙実験の手順と実験条件

実験の目的を達成するための手順と実験条件を記入してください。

（必要に応じ、応募案内参考1及び2、『「きぼう」船内実験室ハンドブック』を参照ください。）

(3) 試料の輸送条件・保管条件

打ち上げから回収までの試料の保存・保管条件について記入してください。

打ち上げた試料の回収まで3ヶ月間程度軌道上で保管されることが想定されます。この保管期間中に試料に変性、劣化等がないかについても記入してください。

(4) 必要な宇宙実験の期間

微小重力の影響や宇宙放射線被曝の影響などが有意に検出できる必要最短期間および最適期間を記入してください。

(5) 宇宙実験データの処理

試料の回収後に行う実験方法およびデータ処理の方法を記入してください。

6.2 利用希望装置

利用を希望する宇宙実験装置にチェックしてください。実験内容に応じて複数の装置を選択してください。(なお、No. 14 の「宇宙医学研究のための装置」に関しては「きぼう船内実験室利用ハンドブック」に記載の NASA、ESA 等の所有する装置等を参照ください。これら海外機関の装置は、国際協力枠組みの中で利用調整する装置であり、場合によっては、希望に添えないことがあります。)

2.3.4 生命倫理および安全面への配慮

生命倫理および安全面への配慮

- ヒト（ヒト又はヒト由来試料）を対象とする研究
所属機関倫理審査委員会等の有無 有 無
- 動物実験（脊椎動物）を対象とする研究
所属機関動物実験委員会等の有無 有 無
- どちらにも該当しない

【生命倫理および安全面への配慮】

「様式般2 提案書（生命倫理および安全面への配慮）」の作成要領

ヒト（ヒト又はヒト由来試料（細胞バンク登録細胞を含む））および脊椎動物（その受精卵、胚、受精卵、初代培養細胞を含む）を対象とするテーマについては、所属機関内の倫理審査委員会等の有無をあわせて、該当する項目にチェックしてください。どちらも対象としないテーマについては、「どちらにも該当しない」にチェックしてください。

ヒト由来試料を用いた宇宙実験を計画する場合、この募集の範囲では軌道上で試料を採取することはできません。地上で調製するヒト由来試料の利用は可能です。

【生命倫理および安全面への配慮】

ヒト（ヒト又はヒト由来試料（排泄物、分泌物、細胞バンク登録細胞を含む））および脊椎動物（その受精卵、胚、受精卵、初代培養細胞を含む）を対象とするテーマについては、下表の法令等を参照し、以下の事項について記述してください。

- ・ 提案する内容と関連する法令及び指針等との関係、倫理面・安全対策面（動物等を科学上の利用に供する場合の配慮を含む）において講じるべき措置と対応状況について「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針に従い、施設内の倫理委員会およびJAXAの該当する委員会において計画の承認を受けて実施する。」など具体的に記述してください。特に問題がないと判断した場合には、その理由等について記述してください。
- ・ 社会的コンセンサスを必要とするテーマや、ヒト由来試料を用いるテーマについては、ヒト由来試料の提供者等に対する人権および利益の保護の取扱いに十分配慮する必要があります。試料提供者等に対する人権擁護上の配慮、不利益・危険性の排除の説明と理解（インフォームドコンセント）に関わる状況等を必ず記述してください。

提案に含まれる内容	関係法令及び指針等
ヒトを対象とする提案	・ 人を対象とする医学系研究に関する倫理指針
特定胚の取扱いを含む提案	・ ヒトに関するクローン技術等の規制に関する法律
	・ 特定胚の取扱いに関する指針
遺伝子組換え実験を含む提案	・ ヒトに関するクローン技術等の規制に関する法律施行規則
	・ 遺伝子組換え生物等の使用等の規制による生物多様性の確保に関する法律（いわゆるカルタヘナ法）
ヒトゲノム・遺伝子解析を含む提案	・ ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針
	・ 遺伝子治療臨床研究に関する倫理指針
ヒト ES 細胞の樹立及び使用を含む提案	・ ヒト ES 細胞の樹立及び使用に関する指針
再生医療を含む提案	・ 再生医療等の安全性確保等に関する法律
動物実験を含む提案	・ 研究機関等における動物実験等の実施に関する基本指針

詳細は以下のホームページをご覧ください。

- ・ 文部科学省ホームページ「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」
http://www.lifescience.mext.go.jp/files/pdf/n1443_01.pdf
- ・ 文部科学省ホームページ「生命倫理・安全に対する取組」
<http://www.lifescience.mext.go.jp/bioethics/index.html>
- ・ 文部科学省ライフサイエンス課ホームページ（動物実験等の基本指針説明会資料）
<http://www.lifescience.mext.go.jp/policies/dobutsu.html>

2.3.5 経歴および業績等

経歴および業績等
＜研究代表者 研究分担者（ ）＞
(研究者毎に作成)

1. 経歴

- (1) 氏名(フリガナ)
- (2) 所属機関および役職名
- (3) 年齢(平成27年6月30日現在)
- (4) 学位
 - ・授与機関名
 - ・学位名
 - ・取得年
- (5) 研究経歴
- (6) 専門分野

2. 発表論文名/著書名

3. 関連する取得特許

4. 関連する競争的資金制度での採択実績

「様式般2 提案書(経歴および業績等)」の作成要領

研究代表者、研究分担者について、各人ごとに作成してください。研究者一人につき、A4用紙2ページ以内に収めてください。

研究代表者または研究分担者のいずれか該当する項目にチェックをし、研究分担者については、()内に「様式般2 提案書(研究体制)」で割り振った番号を記入してください。

1. 経歴

- ・「(5) 研究経歴」には、これまで研究してきた内容を下記の例のように記述してください。
例:「19××年から××年 ××大学 講師 ○○○について研究(△△を発見した)」
- ・「(6) 専門分野」には、現在の専門分野(3つ程度)を記入してください。

2. 発表論文名/著書名

学術誌等に発表した論文、著書等のうち、本提案に関連する主要なものを選んで、現在から順に発表年次を過去に溯り、番号を付して記述してください。これら以外にも研究提案を理解する上で必要と思われる論文がある場合には、関連論文として追加してください。

【著者(著者は全て記入)・発表論文名・掲載誌・巻号・ページ・発表年】

3. 関連する取得特許

本提案に関連して、これまでに取得している特許があれば、記入してください。

4. 関連する競争的資金制度での採択実績

本提案に関連して、これまでに国の競争的資金制度や民間団体等からの助成等を受けた実績があれば、名称、担当府省庁・機関・民間団体等、研究課題名、代表研究者、研究期間、配分額等を記入してください。また、本提案との関連について記入してください。

2.4 様式般3 正式申請書 研究分担者承諾書

平成 年 月 日

平成27年度「きぼう」利用 フィジビリティスタディテーマ募集
(一般募集区分)
研究分担者承諾書

研究代表者所属機関名：

研究代表者役職名：

研究代表者氏名：

テーマ名：

標記テーマの研究分担者となることを承諾します。

研究分担者所属機関名

役職名・研究分担者氏名

印

「様式般3 研究分担者承諾書」の作成要領

- ・「様式般2 提案書（研究体制）」に記載した全ての研究分担者について、**各人ごとに**研究分担者承諾書を提出してください。研究分担者がいない場合は提出する必要はありません。
- ・様式に沿って研究分担者の所属機関名、役職名、氏名を記入してください。氏名欄には記名・捺印または署名してください。

2.5 様式般 4 正式申請書 個人情報の取扱いに関する同意書

個人情報の取扱いに関する同意書

私は、下記の個人情報の保護の取扱いに同意し、「平成 27 年度「きぼう」利用フィジビリティスタディテーマ募集」に応募（又は、応募に同意）致します。

平成 年 月 日

所属：

氏名： 印

(自署)

今回の応募で得た氏名、勤務先等の個人情報については、JAXA による各種募集、関連学会・シンポジウム等に関する情報をダイレクトメールおよび電子メール等でお知らせするために利用します。

また、提出書類は審査以外の目的に使用せず、提案内容に関する秘密は厳守いたします。

■個人情報の第三者への提供・開示

原則として取得した個人情報をご本人の同意を得ることなく、第三者に提供・開示する事はありません。但し、以下に該当する場合を除きます。

1. ダイレクトメール等をお届けするために、JAXA が機密保持契約等の締結を行った業務委託会社に個人情報を提供する場合
2. 本人の同意を得ているとき
3. 公開情報（官報、WEB サイト情報、書籍等）であるとき
4. 合併その他の事由による事業の承継に伴って個人情報を提供する場合であって、承継前の利用目的の範囲内で当該個人情報を取り扱うとき
5. 法令に基づく場合
6. 人の生命、身体又は財産の保護のために必要がある場合であって、本人の同意を得ることが困難であるとき
7. 公衆衛生の向上又は児童の健全な育成の推進のために特に必要がある場合であって、本人の同意を得ることが困難であるとき
8. 国の機関若しくは地方公共団体又はその委託を受けた者が法令の定める事務を遂行することに対して協力する必要がある場合であって、本人の同意を得ることによって当該事務の遂行に支障を及ぼすおそれがあるとき

「様式般 4 個人情報の取扱いに関する同意書」の作成要領

- ・ 研究代表者および「様式般 2 提案書（研究体制）」に記載した全ての研究分担者について、各人ごとに個人情報の取扱いに関する同意書を提出してください。
- ・ 様式に沿って日付、所属機関名、氏名を記入してください。氏名欄は自署の上、捺印してください。

以上